

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	知的財産法	2	五味 由典	
平成25年度以前	知的財産法Ⅱ	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
知的財産権(特に著作権)の内容を正確に理解し、公正な利用について考える。著作権に関して発生している様々な問題点の解決策を探る。				共通
授業の概要				専門基礎
知的財産法の中で著作権法を中心とする文化関連の法律について学ぶ。著作権とはどのような権利か、権利の公正な利用とはどのようなものか、さらに、具体的な著作物毎に従来の著作権制度のあり方について考える。毎授業開始時に直近の知的財産関連の動きを紹介し、必要に応じて解説を加える。講義自体は穴埋め式のレジュメを配るので受講者はその穴を埋めながら受講をすることになる。著作権法は、平成24年に大きな改正がされている。				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回: 知的財産法概説 知的財産権とはどのような権利か</p> <p>第2回: 著作権法総論Ⅰ～著作権の特徴～</p> <p>第3回: 著作権法総論Ⅱ～著作権の沿革と国際社会～</p> <p>第4回: 著作権法各論 ①著作物とはどのようなものか</p> <p>第5回: 著作権法各論 ②特殊な形態の著作物</p> <p>第6回: 著作権法各論 ③著作者人格権(公表権、氏名表示権)</p> <p>第7回: 著作権法各論 ④著作者人格権(同一性保持権)</p> <p>第8回: 著作権法各論 ⑤絵画の著作物(1)～著作権と所有権とのかかわり～</p> <p>第9回: 著作権法各論 ⑥絵画の著作物(2)～キャラクタの保護～</p> <p>第10回: 著作権法各論 ⑦音楽の著作物(1)～複製権と演奏権～</p> <p>第11回: 著作権法各論 ⑧音楽の著作物(2)～公正な利用、フェア・ユース～</p> <p>第12回: 著作権法各論 ⑨音楽の著作物(3)～集中処理～</p> <p>第13回: 著作権法各論 ⑩映画の著作物(1)～権利処理と流通～</p> <p>第14回: 著作権法各論 ⑪映画の著作物(2)～中古ゲーム・ソフト～</p> <p>第15回: 著作権法各論 ⑫映画の著作物(3)～新たな著作物の形態～</p> <p>【履修上の注意事項】</p> <p>春学期の知的財産法Ⅰもあわせて受講することによって知的財産法の全体像を理解することができる。また、民法の物権法や不法行為に関連する科目もあわせて受講してあると理解が進むのでできるだけこれらの科目も受講してほしい。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
角田政芳・辰巳直彦『知的財産法(第6版)』有斐閣アルマ、2400円。 (春学期と同じ教科書を使用する。) 著作権法(なるべく最近のもの)が掲載されている六法持参のこと。				25年度以前 経営法務コース
参考書・参考資料等				
開講時および授業時に適宜指示する。				
学生に対する評価				演習
学期末の試験により評価を行う。				